



1 学期終業式レポート それぞれの抱負と、未来へつながる夏休み

まず児童・生徒代表が壇上に立ち、小学生代表は「学習のレベルアップ」を、中学生代表は「生活リズムの改善」を、それぞれの2学期への抱負として力強く誓いました。

続く校長講話で、「2つの『正しさ』」について話しました。

「ありのままでよい」という言葉は、壁にぶつかったときに心を折らないための内面のしなやかさを育むための正しさです。一方で、「今のままではいけない」も、子供たちが将来社会で活躍してほしいという願いから出てくる言葉であり、これも正しさです。社会で活躍するための根本は「心と体の健康」です。朝8時に学習モードで学校にいるためには7時前の起床が必要で、そこから逆算して前日の過ごし方を考えなくてはなりません。時間を守ることは相手へのリスペクトであり、課題をやり遂げる力は学力以上に大切な資質です。先生たちは期待を込めて厳しい言葉をかけます。今の生活続けるか、未来のために自分を変えるか、決めるのは自分自身です。

講話の後は、小学校と中学校の校歌をそれぞれ3番まで、続けて「池島のメロディー」を斉唱しました。2曲の校歌を含む3曲を歌い上げる10分間は、本校ならではの特別な時間となりました。

さて、明日からいよいよ夏休みが始まります。子どもたちがそれぞれの抱負に向かって「つながる生活」を送り、実り多く健康的な日々を過ごして、2学期にまた元気に再会できることを願っています。良い夏休みを！

